

# 2009

ディスクロージャー誌

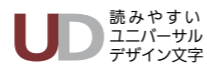


## ふくほうのシンボルマーク

グリーンは地域の発展を示し、白とグリーンで円を描いている部分は、皆様と当行のふれあいを表しております。この三角と円のハーモニーによって全体にイメージされる「F」のデザインは、地域と皆様の繁栄に貢献し、未来永久に幸せをもたらしていきたいという当行の決意を示しております。

## The Fukuho Bank, Ltd.

発行/平成21年7月  
編集/株式会社 福邦銀行 企画部  
〒910-0023 福井市順化1-6-9  
TEL/0776-21-2500 (代表)  
<http://www.fukuho.co.jp>



# ごあいさつ



取締役頭取 **三田村俊文**

日頃は福邦銀行をお引き立ていただき誠にありがとうございます。

このたび、当行の経営方針や業績の概要などをまとめました「ディスクロージャー誌 2009」を作成いたしました。ご高覧賜れば幸いです。

さて、平成21年3月期決算におきましては、米国の金融危機に端を発した世界的な経済環境により福井県内経済におきましても景気減速傾向が一層強まるなど経営環境が厳しさを増してまいりました。このような環境下、当行グループは平成21年3月に金融機能の強化のための特別措置に関する法律(改正金融機能強化法)に基づき、株式会社整理回収機構様を引受先とする優先株式60億円の発行を実施いたしました。

株主の皆様、並びにお取引先の皆様をはじめ地元のお客様には、多大なご支援とご理解をいただきましたこと心から厚くお礼申し上げます。

当行は創業以来、地域社会への貢献を経営理念としております。このたびの財務基盤の強化を背景として、経営強化計画「お客様感動への挑戦」に基づいた様々な施策を確実に実践し、常にお客様の立場に立って考え行動することを原点に「お客様から相談され、個性が光る存在感のある銀行」を目指してまいります。

引き続き役職員一同、全力を投入して地域金融機関としての使命を果たしてまいります。今後とも変わらぬご支援、ご愛顧を賜りますようお願い申し上げます。

平成21年7月

## CONTENTS

- プロフィール・・・・・・・・・・・・・・・・・・1
- ごあいさつ、経営理念・・・・・・・・・・・・2
- 経営強化計画・・・・・・・・・・・・・・・・・・3
- 業績ハイライト・・・・・・・・・・・・・・・・4
- 地元中小企業のお客様に対する金融の円滑化への取組み・・・7
- 地域密着型金融の推進・・・・・・・・・・・・8
- 金融サービスの向上・・・・・・・・・・・・9
- 地域のお客様とともに・・・・・・・・・・・・10
- 経営強化計画について・・・・・・・・・・・・11
- コーポレート・ガバナンス・・・・・・・・・・12
- プライバシーポリシーほか・・・・・・・・・・15
- 組織図・役員・・・・・・・・・・・・・・・・・・16
- 関係会社の状況・従業員の状況・沿革・・・・・・・・・・17
- 店舗一覧・キャッシュコーナー一覧・・・・・・・・・・18
- 主な業務のご案内・・・・・・・・・・・・・・19
- 資料編・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・24

## プロフィール

(平成21年3月末現在/単体ベース)

|         |                                   |
|---------|-----------------------------------|
| 名 称     | 株式会社福邦銀行<br>THE FUKUHO BANK, LTD. |
| 本店所在地   | 福井市順化1丁目6番9号                      |
| 創 立     | 昭和18年11月5日                        |
| 資 本 金   | 73億円                              |
| 総 資 産   | 4,422億円                           |
| 預 金     | 4,173億円                           |
| 貸 出 金   | 3,395億円                           |
| 自己資本比率  | 9.50%(国内基準)                       |
| 店 舗 数   | 44カ店                              |
| 従 業 員 数 | 601名                              |

### 経営理念

**地域社会への貢献**  
私どもは幸せな人間生活と豊かな社会づくりに貢献することを銀行活動の使命とします。

**健全なる経営**  
銀行の発展は、地域社会への貢献の証しであり、私どもの存在を可能とするため、より健全な経営に心がけます。

**活力ある職場**  
私どもが人間として尊厳を勝ちとるための練成の場として、明るく活力ある職場づくりに努めます。

### 福邦の心

**至誠の心**  
信頼の絆と責任を自覚し、お客様にまごころを尽くします。

**和の心**  
お互いの立場を理解し、喜びを分かち合う心を育てます。

**進取の心**  
変化に対応する熱意と挑戦する心を養います。

**共存共栄の心**  
お客様第一に徹し、共存共栄の心で奉仕します。

## お客様感動への挑戦

### 目指す銀行像

お客様から相談され、個性が光る存在感のある銀行

### 基本方針

独自性とスピードによる経営強化

### 運動指針

{C.S.}運動の推進＝お客様との接点重視とフォローアップ

#### {C.S.}運動とは

お客様と多くの接点を持ち、相談される存在となり、しかも速やかに問題を解決して満足していただく運動  
Customer Contact Consultation Speed Solution Satisfaction

{C.S.}は「C」と「S」の集まり  
CS[お客様満足](Customer's Satisfaction)

### 重点課題

#### 「収益力の強化」

- 全員営業による中小企業・個人取引の拡充
- 顧客接点の増強と商品・サービス提供力の強化
- 業務の抜本的な見直しによる業務の効率化
- 経営効率化と収益管理の強化

#### 「組織力の発揮」

- 全体最適を目指した仕組みづくり
- 組織・制度の改革と人材育成
- スピードを持って行動するシステムの構築

#### 「ガバナンス態勢の強化」

- コンプライアンス態勢の強化
- リスク管理の高度化
- 内部統制態勢の堅確化

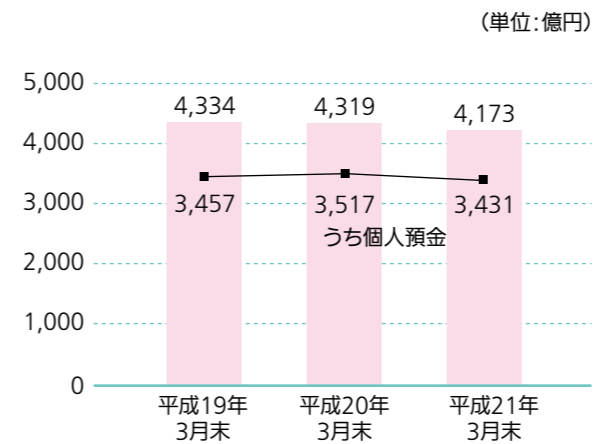
#### 「財務基盤の安定化」

- ◆ 自己資本の充実による財務基盤の強化
- ◆ トップライン収益とボトム収益の強化
- ◆ 与信コストの安定化

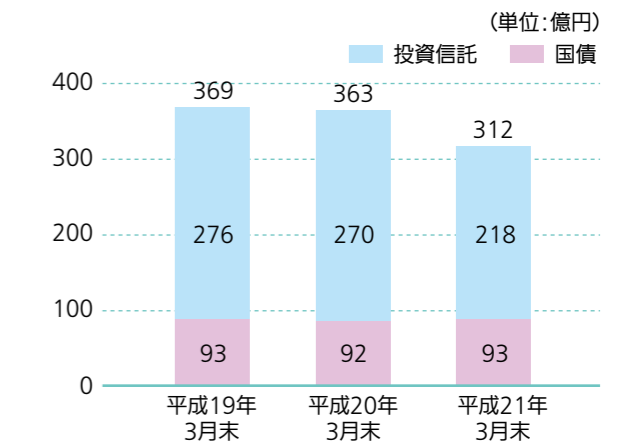
## 預金等の状況(単体)

預金は、個人預金、法人預金等が減少したことから期末残高は前期末比145億円減少して4,173億円となりました。預かり資産は、金融市場の混乱により投資信託が減少し、前期末比50億円減少の312億円となりました。

### 預金残高の推移



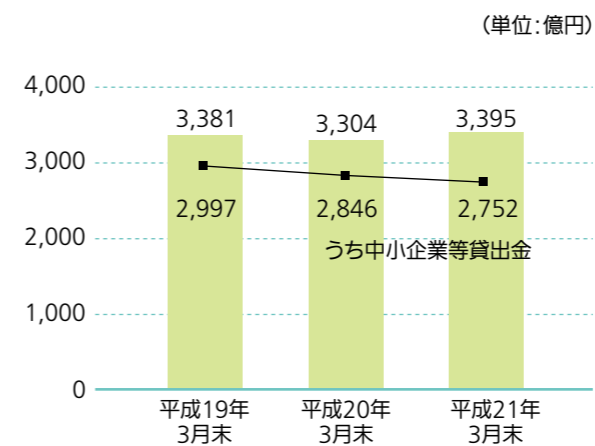
### 預かり資産残高の推移



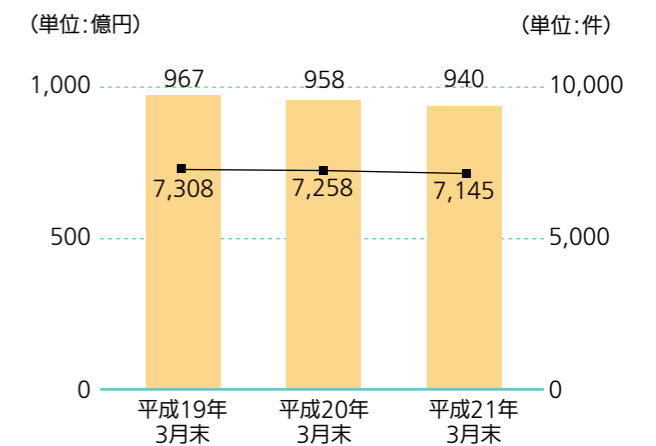
## 貸出金の状況(単体)

貸出金は、消費者ローンは減少したものの、事業性貸出が増加したことから期末残高は前期末比90億円増加して3,395億円となりました。

### 貸出金残高の推移



### 住宅ローン残高・件数の推移



(注) 中小企業等とは、資本金3億円(ただし、卸売業は1億円、小売業、サービス業は5千万円)以下の会社または常用する従業員が300人(ただし、卸売業は100人、小売業は50人、サービス業は100人)以下の会社および個人です。

# 業績ハイライト

## ■ 損益の状況(単体)

経常収益は、有価証券関係収益および貸出金利息収入が減少した結果、前期比10億29百万円減少の109億17百万円となりました。

銀行本業部分の収益を示すコア業務純益は、経費の削減に努めましたが、預貸金利ざやの縮小により前期比4億93百万円減少し、14億14百万円となりました。

経常利益は、前期に予防的貸倒引当金を積み増したことが奏功し、不良債権処理額が大幅に減少したことにより、前期比57億39百万円改善しましたが、有価証券関係の損失処理費用が響き△9億18百万円の損失となりました。

当期純利益は、店舗の減損処理と、繰延税金資産を一部取崩した結果、△20億2百万円の純損失(前期比46億58百万円改善)となりました。

| コア業務純益 (単位:百万円) |       | 経常利益 (単位:百万円) |        | 当期純利益 (単位:百万円) |        |
|-----------------|-------|---------------|--------|----------------|--------|
| 平成19年3月末        | 2,904 | 平成19年3月末      | 562    | 平成19年3月末       | 50     |
| 平成20年3月末        | 1,908 | 平成20年3月末      | △6,658 | 平成20年3月末       | △6,660 |
| 平成21年3月末        | 1,414 | 平成21年3月末      | △918   | 平成21年3月末       | △2,002 |

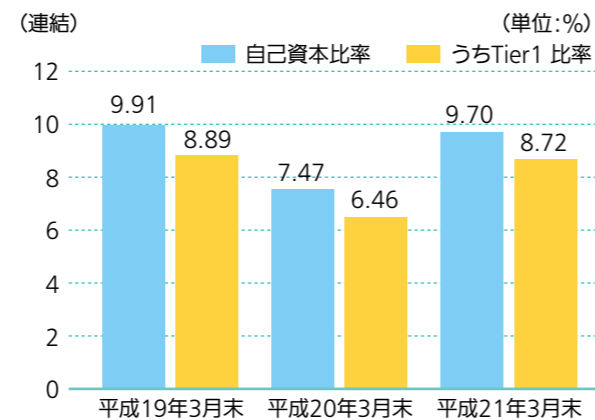
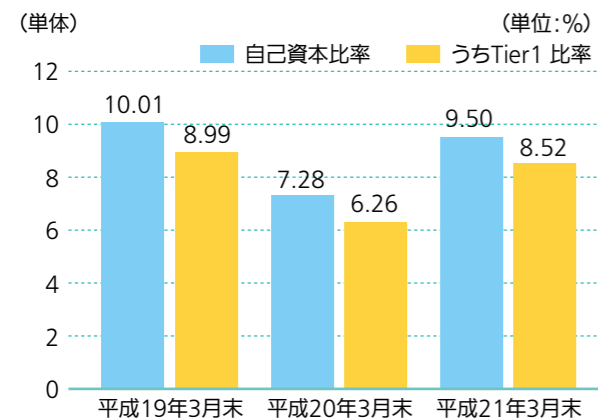
用語解説〈コア業務純益〉

銀行本来の業務であげた利益から、業務を行う上でかかった経費と一時的な変動要因(国債等債券関係損益と一般貸倒引当金繰入額)を差し引いたものです。

## ■ 自己資本比率の状況(国内基準)

自己資本比率は銀行の安全性・健全性を示す重要な指標のひとつです。当行のように海外に支店を持たない銀行は国内基準の4%以上が義務付けられています。

平成21年3月末のリスク・アセット(万-の場合、貸倒れの危険性のある資産)に対する自己資本の額は銀行単体199億円、連結は204億円、自己資本比率は単体9.50%、連結9.70%、Tier1比率では単体8.52%、連結8.72%となっております。経営強化計画の諸方策の確実な実践により、引き続き内部留保を積み上げてまいります。



## ■ 配当政策

当行の配当方針は、銀行業としての公共性に鑑み、長期にわたって安定経営に努め、年2回の継続かつ安定した配当実施をすることとしております。また、配当の決定機関は、中間配当は取締役会、期末配当は定時株主総会であります。

しかしながら、当期末配当金につきましては、多額の損失計上となりましたので、普通株式は誠に遺憾ながら無配とさせていただきます。また平成21年3月31日発行のA種優先株式期末配当金は定款および発行要領の定めに従いまして、平成21年6月26日開催の定時株主総会に総額318,000円・1株当たり0.053円にて決議を賜りました。

今後につきましても厳しい経営環境が予想されますが、営業基盤の拡充を図りながら一層の収益向上に努め、内部留保の充実による財務体質を強化することにより、株主各位のご期待に添うべく努力してまいります。

なお、当行は、取締役会の決議により、毎年9月30日を基準日として中間配当を行うことができる旨を定款で定めております。

## ■ 対処すべき課題

刻々と変化する金融環境に柔軟に対応し、地域のお客様に最適な金融サービスを提供するため、地域に根差した営業体制を強化し、収益性の高い健全な経営体質を構築することが当行にとっての重要課題であると考えております。また、中小規模事業者のお客様に対する円滑な資金供給や地域経済の活性化への貢献を通じて、地域社会の発展に必要な不可欠な存在としてお客様からの一層の信頼向上に努める必要があります。

当行グループは平成21年3月に金融機能の強化のための特別措置に関する法律(改正金融機能強化法)に基づき、株式会社整理回収機構様を引受先とする優先株式60億円の発行を実施いたしました。今後は経営強化計画に基づき、店舗の戦略的統廃合、人員の効率的配置、業務の効率化等を進め、収益体質の改善を目指します。

また、金融サービスにおける規制緩和が益々進む一方、金融取引にかかる利用者保護の徹底の要請が高まっており、金融機関としてお客様への一層の説明責任態勢の構築が必要となっております。

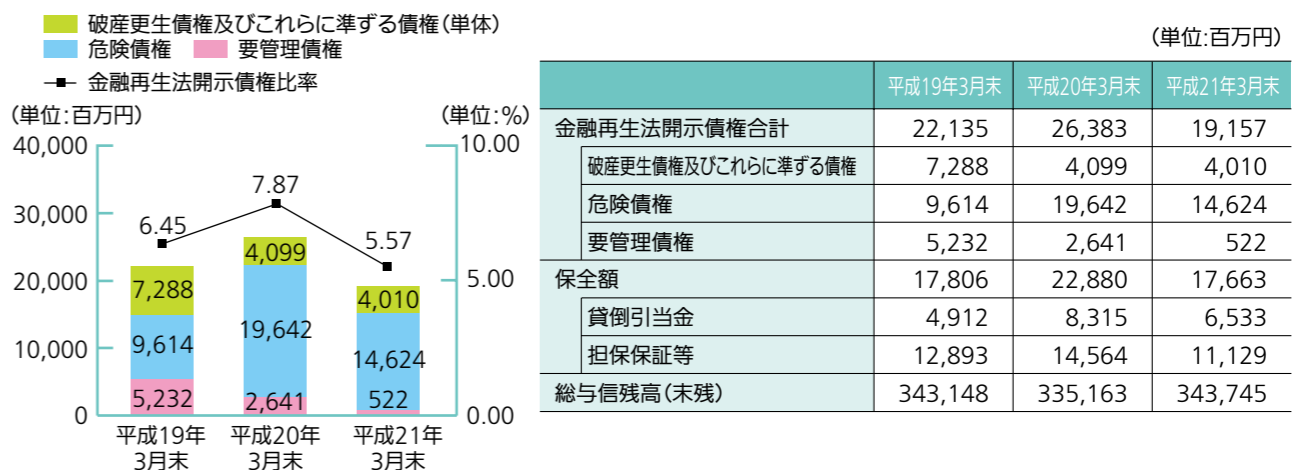
なお、ガバナンス態勢の一層の強化を図るため、社外取締役を1名増員いたしました。また、社外の第三者により構成された「経営諮問委員会」を平成21年6月に新設し、経営の客観性・透明性をより高めてまいります。

## ■ 不良債権の状況

当行は、貸出金などの資産の価値に対して厳しく査定を行い適正な償却・引当を実施しております。また、積極的にお取引先に対する経営支援を強化しております。平成21年3月末の金融再生法開示債権は前期比72億円減少の191億円となりました。

なお、金融再生法開示債権191億円には、担保保証のほか、将来的に損失を被ることに備え、すでに費用として引当している部分も含まれております。開示債権に対する保全額は176億円、保全率は92.20%あり、将来的な損失にも十分に備えております。

### 金融再生法に基づく開示債権額、比率



※①破産更生債権及びこれらに準ずる債権とは破産、会社更生、再生手続などの事由により経営破綻に陥っている債務者に対する債権およびこれらに準ずる債権

②危険債権とは債務者が経営破綻の状態には至っていないが、財政状態および経営成績が悪化し、契約に従った債権の元本の回収および利息の受取りができない可能性の高い債権

③要管理債権とは3ヵ月以上延滞債権(元金または利息の支払が約定支払日の翌日を起算日として3ヵ月以上延滞している貸出債権)および貸出条件緩和債権(経済的困難に陥った債務者の再建または支援を図り、当該債権の回収を促進すること等を目的に、債務者に有利な一定の譲歩を与える約定条件の改定などを行った貸出債権)(注)いずれも①②を除く。